

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」

2010年総目次（65号～77号。全13号配信）

65号：2010.1.1(金)（14頁）

1. 論文：民主党政権の医療改革手法の危うさ－政権発足後3か月間の仮評価
（二木教授の医療時評（その72）」『文化連情報』2010年月1月号（382号）：20-24頁）
2. インタビュー：新政権の医療・介護施策私はこう見る「中医協委員の差し替えはプロセスに大きな問題がある」（『日経ヘルスケア』2009年12月号（第242号）：19頁）
3. インタビュー：財源欠き、公約実行に苦慮 医療費抑制に先祖返りも 民主党政権で医療は（『週刊東洋経済』2009年12月26日号・2010年1月2日号：130頁）
4. 最近出版された医療経済・政策学関連図書（洋書）のうち一読に値すると思うものの紹介（その17）：6冊
5. 私の好きな名言・警句の紹介（その61－最近知った名言・警句）

66号：2010.2.1(月)（25頁）

1. 論文：川上武先生の医療政策・医療史研究の軌跡と現代的意義
（「二木教授の医療時評（その73）」『文化連情報』2010年月2月号（383号）：14-23頁）
2. インタビュー：民主党の医療政策は底が浅く危うい
（『月刊／保険診療』2010年1月号（65巻1号）50-54頁）。
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
（通算51回、2009年分その8：8論文）
5. 私の好きな名言・警句の紹介（その62－最近知った名言・警句）

67号：2010.3.1(月)（13頁）

1. 論文：2010年診療報酬改定報道の3つの盲点
（「日経メディカル・オンライン」「私の視点」1月27日（本文）・2月3日（補注）。『文化連情報』2010年月3月号（384号）：16-19頁「二木立教授の医療時評（その74）」に転載）
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
（通算52回、2009年分その9：10論文）
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その63－最近知った名言・警句）

68号：2010.4.1(木)（16頁＋別ファイル10頁）

1. 論文：日本の政権交代と民主党の医療政策－英米との異同にも触れながら
（『日本医事新報』No.4480(2010年3月6日)：105-109頁「時論」。『文化連情報』2010年4月号（385号）：16-20頁「二木教授の医療時評（その75）」に転載）
2. 大学院「入院」生のための論文の書き方・研究方法論等の私的推薦図書

(2010年度版、Ver 12) (別ファイル：10院本推薦.doc)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算53回、2010年分その1：6論文)
4. 私の好きな名言・警句の紹介 (その64ー最近知った名言・警句)

69号：2010.5.1(土) (23頁)

1. 論文：混合診療原則解禁論の新種「ビジネスクラス理論」を検討する
(「日経メディカルオンライン」(<http://medical.nikkeibp.co.jp/>)「私の視点」2010年4月日、補注は4月12日。『文化連情報』2010年5月号(386号)：6-9頁「二木教授の医療時評(その76)」に転載)
2. 論文：政権交代と今後のリハビリテーション医療
(『地域リハビリテーション』2010年4月号(第5巻第4号)：323-328頁)
3. インタビュー：民主党は財源をハッキリと示すべき
(『医療経済』2010年4月1日号(通巻1369号)：3頁「OBSERVER」)
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算53回、2010年分その2：6論文)
5. 私の好きな名言・警句の紹介 (その65ー最近知った名言・警句)

70号：2010.5.11(火) <臨時配信> (4頁)

1. 論文：行政刷新会議WGが投じた混合診療解禁論の変化球
(「二木教授の医療時評(その77)」『文化連情報』2010年6月号(387号)：12-14頁)。
2. 談話：(日医新執行部に望む) 公的医療費総枠拡大の運動強化に期待 (『日本医事新報』2010年5月8日(No.4489)：13-14頁)。

71号：2010.6.1(火) (16頁)

1. 論文：日本の介護保険制度と保健・医療・福祉複合体ー韓国社会福祉学会春季学術大会での報告
(「二木教授の医療時評(その78)」『文化連情報』2010年6月号(387号)：14-22頁)。
2. 最近出版された医療経済・政策学関連図書(洋書)のうち一読に値すると思うものの紹介(その18)：9冊
3. 私の好きな名言・警句の紹介(その64)ー最近知った名言・警句

72号：2010.7.1(金) (18頁+別ファイル6頁：100612東洋経済座談会.pdf)

1. 座談会：徹底討論「医療の産業化」のあり方を問うー医療を通じた成長 混合診療拡大の是非 (『週刊東洋経済』2010年6月12日号(第6266号)：82-87頁。私の発言のみ)
※座談会の全文は別ファイル(100612東洋経済座談会.pdf)。
2. 講演レジュメ：民主党政権と混合診療原則(全面)解禁論ー底の浅さと危うさ、しかし希望も(2010年6月11日 日本の医療を守る市民の会第25回勉強会)
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算55回、2010年分その3：7論文)

4. 私の好きな名言・警句の紹介（その67）－最近知った名言・警句

73号：2010.8.1(日)（15頁）

1. 論文：「保険外併用療養の範囲拡大」はごく限定的にとどまる－6月18日閣議決定の正しい読み方

（「二木立教授の医療時評（その79）」『文化連情報』2010年月8月号（389号）：16-20頁。圧縮版を「日経メディカルオンライン」「私の視点」2010年7月20日に先行掲載）

2. 談話：参院選後の医療政策の見通し

（『日本医事新報』No.4500(2010年7月24日)：10頁）

3. スピーチ：「隅一」にならず、これからも研究業績を積み重ねてください

（2010年7月8日 山田壮志郎君の社会政策学会学会賞（奨励賞）受賞記念祝賀会へのメッセージ）

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

（通算56回. 2010年分その4：7論文）

5. 私の好きな名言・警句の紹介（その68）－最近知った名言・警句

74号：2010.9.1(水)（21頁）

1. 論文：「新成長戦略」と「医療産業研究会報告書」を読む

（『日本医事新報』No.4504(2010年8月21日)：89-92頁「時論」）

2. 論文：医療・健康の社会格差と医療政策の役割－日本学術会議市民公開シンポジウムでの報告

（「二木立教授の医療時評（その80）」『文化連情報』2010年月9月号（390号）：14-21頁）

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

（通算57回. 2010年分その5：6論文）

4. 私の好きな名言・警句の紹介（その69）－最近知った名言・警句

75号：2010.10.1(金)（16頁）

1. 学会報告：日本における2009年政権交代と民主党の医療政策－第6回社会保障国際論壇での報告

2. 書評：若月先生の生き方に学ぶ－『信州の風の色』を読んで

（『農民とともに（佐久総合病院ニュース）』No.211(2010年9月30日):11頁）

3. 最近出版された医療経済・政策学関連図書（洋書）のうち一読に値すると思うものの紹介（その19）：7冊

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

（通算58回. 2010年分その6：4論文）

5. 私の好きな名言・警句の紹介（その70）－最近知った名言・警句

76号：2010.11.1(月)（13頁）

1. 論文「混合診療原則解禁論はなぜゾンビのように復活するのか？」

(「二木立教授の医療時評(その82)」『文化連情報』2010年月11月号(392号) : 18-23
頁)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算59回. 2010年分その7 : 6論文)

3. 私の好きな名言・警句の紹介(その71) - 最近知った名言・警句

77号 : 2010.12.1(水) (13頁+別ファイル4頁+総目次ファイル16頁)

1. 論文 : 医療ツーリズムの市場規模の超過大表示 - 日本政策投資銀行レポートの検証

(「二木立教授の医療時評(その83)」『文化連情報』2010年月12月号(393号) : 14-17
頁。「日経メディカルオンライン」「私の視点」欄に11月18日先行掲載)

2. インタビュー : 「編集長が聞く 医療経済・医療政策の視座で日本を見る」(『メディ
カル朝日』2010年11月号(39巻11号,通巻468号) : 10-13頁) (別ファイル : 101101メディ
カル朝日インタビュー.pdf)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算60回. 2010年分その8 : 7論文)

4. 私の好きな名言・警句の紹介(その72) - 最近知った名言・警句

補. 「ニューズレター」年間総目次(65~77号. 全13号) (別ファイル : 10NL目次.doc)

- 医療経済・政策学関連の洋書・英語論文の目次、名言・警句の人名索引付き。

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」2010年（65～77号）

最近出版された医療経済・政策学関連図書（洋書）のうち一読に値すると思うものの紹介 2010年目次：合計22冊

65号:2010.1.1（金）：6冊

- 『愛される野獣を飼い慣らすー医療技術費用が我々の医療制度をいかに破壊しつつあるか?』（Callahan D: Taming the Beloved Beast - How Medical Technology Costs are Destroying Our Health Care System. Princeton University Press, 2009, 267 pages） [思想書]
- 『 [イギリス・ニュージーランド・アメリカの] 新しい医療政策』（Gauld R: The New Health Policy. Open University Press, 2009, 201 pages） [研究書（国際比較）]
- 『北欧の医療制度 [と政策] ー近年の改革と現在の政策課題』（Magnussen J, Vrangbaek K, Saltman RB, eds.: Nordic Health Care Systems - Recent reforms and current policy challenges. Open University Press, 2009, 339 pages） [研究書（国際比較）]
- 『現代医療の比較研究と政治』（Marmor TR, Freeman R, Okma KGH, eds.: Comparative Studies and the Politics of Modern Medical Care. Yale University Press, 2009, 353 pages） [研究書（国際比較）]
- 『 [アメリカ] 医療のカオスと組織 [化]』（Lee TH, Mongan JJ: Chaos and Organization in Health Care. The MIT Press, 2009, 278 pages） [概説書（医療改革・医療経営）]
- 『トヨタ方式で超優良病院になるーリーン（方式）による効率改善と質向上』（Black J, Miller D: The Toyota Way to Healthcare Excellence: Increase efficiency and improve quality with lean. Health Administration Press, 2008, 255 pages） [啓蒙書（医療経営）]

71号:2010.6.1（火）：9冊

- 『図表でみる [OECD加盟国の] 保健医療 2009 OECDインディケーター』（Health at a Glance 2009 OECD Indicators. OECD, 2009, 200 pages） [概説書]
- 『6つの国、6つの改革モデル：イスラエル、オランダ、ニュージーランド、シンガポール、スイスと台湾の医療改革の経験ーレイダー・スクリーンの下での医療改革』（Okma KGH, Crivelli L (eds): Six Countries, Six Reform Models: The Healthcare Reform Experiences of Israel, The Netherlands, New Zealand, Singapore, Switzerland and Taiwan. World Scientific, 2010, 237 pages） [国際比較研究]
- 『保健医療サービスの組織』（Currie G, Kitchener M (eds.): Organizing Health Services. Sage Publications, 2010, Volume 1-4, 324+434+453+295 pages） [論文選集]
- 『医療制度改善のためのパフォーマンス測定ー経験、課題と見通し』（Smith PC, Mossialos E, et al (eds): Performance Measurement for Health System Improvement - Experiences, Challenges and Prospects. Cambridge University Press, 2009, 726 pages） [上級教科書]

○『隔年医療マネジメントレビュー：メゾ [レベルの] 視点』

(Savage GT, Fottler MD (eds.): Biennial Review of Health Care Management: Meso Perspectives. Emerald Group Publishing, 2009, 229 pages) [レビュー論文集]

○『アメリカの無保険者危機－健康・医療面の諸帰結』

(Institute of Medicine: America's Uninsured Crisis - Consequences for Health and Health Care. The National Academies Press, 2009, 214 pages) [提言書]

○『グローバリゼーション、市場と医療政策－患者を消費者と描き直す』

(Tritter J, Koivusalo M, et al (eds.): Globalisation, Markets and Health Policy - Redrawing the patient as consumer. Routledge, 2010, 200 pages) [国際比較研究]

○『病的徴候－資本主義下の保健医療 社会主義年報2010』

(Panitch L, Leys C (eds.): Morbid Symptoms - Health Under Capitalism Socialist Registry 2010. The Merlin Press, 2009, 325 pages) [論文集]

○『医療 [と医療政策] の主要論争』

(Taylor G, Hawley H: Key Debates in Health Care. Open University Press, 2010, 188 pages) [初級教科書]

75号:2010.10.1 (金) : 7冊

2. 最近出版された医療経済・政策学関連図書 (洋書) のうち一読に値

すると思うものの紹介 (その19) : 7冊

○『医療経済学辞典 第2版』

(Culyer AJ: The Dictionary of Health Economics, Second Edition. Edward Elgar, 2010, 694 pages)

○『医療への費用便益分析の適用手法』

(McIntosh E, Clarke PM, et al (eds): Applied Method of Cost-Benefit Analysis in Health Care. Oxford University Press, 2010, 267 pages) [中級教科書]

○『比較医療政策 第3版』

(Blank RH, Burau V: Comparative Health Policy 3rd Edition. Palgrave, 2010, 309 pages.) [研究書 (国際比較)]

○『医療の政治経済－NHSはどこからきてどこに向かっているのか 第2版』

(Hart JT: The political economy of health care - Where the NHS came from and where it could lead. Policy Press, 2010, 319 pages) [評論]

○『アメリカ医療の断片化－原因と解説策』

(Elhauge ER, ed: The Fragmentation of U.S. Health Care - Causes and Solutions. Oxford University Press, 2010, 388 pages) [研究論文集]

○『今も壊れたまま－アメリカの医療制度を理解する』

(Davidson SM: Still Broken - Understanding the U.S. Health Care System. Stanford Business Books, An Imprint of Stanford University Press, 2010, 288 pages) [提言書]

○『アメリカの医療－組織、マネジメントおよび政策』

(Greenwald HP: Health Care in the United States - Organization, Management, and Policy. Jossey-Bass, 2010, 381 pages) [中級教科書]

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」2010年(65～77号)

最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文目次: 合計67論文

66号(2010.2.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算51回, 2009年分その8: 8論文)

○ **【アメリカの医療】費用曲線は、改革がない場合にさえ、屈曲するか？ [医療費増加率は低下するか？]**

(Cutler DM: Will the cost curve bend, even without reform? The New England Journal of Medicine 361(15):1424-1425,2009) [評論]

○ **説明責任と透明性を求める声が増大する時代における医師の共同規制：アメリカ、カナダおよびイギリスにおける医師免許更新の比較**

(Shaw K, et al: Shared medical regulation in a time of increasing calls for accountability and transparency: Comparison of recertification in the United States, Canada and the United Kingdom. Journal of the American Medical Association 302(18):2008-2014,2009) [国際比較研究]

○ **何のための計画か？保健医療の人的資源計画の前提条件への挑戦**

(Murphy GT, et al: Planning for what? Challenging the assumptions of health human resources planning. Health Policy 92(2-3):225-233,2009) [量的研究]

○ **【イングランドにおける】高齢者による長期ケアと入院の利用：代替率の分析**

(Forder J: Long-term care and hospital utilisation by older people: An analysis of substitution rates. Health Economics 18(11):1322-1338,2009) [量的研究]

○ **【フィンランドにおける】在宅患者に対する在宅ケアと退院援助の統合の費用対効果**

(Hammar T, et al: The cost-effectiveness of integrated home care and discharge practice for home care patients. Health Policy 92(1):10-20,2009) [量的研究 (費用効用分析)]

○ **スウェーデンにおける地域を基盤にした糖尿病予防プログラムの費用効果分析**

(Johansson P, et al: A cost-effectiveness analysis of a community-based diabetes prevention program in Sweden. International Journal of Technology Assessment in Health Care 25(3):350-358,2009) [量的研究 (費用効用分析)]

○ **慢性疾患マネジメントの在宅テレヘルス：体系的文献レビューと経済的評価の分析**

(Polisena J, et al: Home telehealth for chronic disease management: A systematic review and an analysis of economic evaluations. International Journal of Technology Assessment in Health Care 25(3):339-349,2009) [文献レビュー]

○ **様々な疾患の治療での身体運動を用いた介入の費用対効果：体系的文献レビュー**

(Roine E, et al: Cost-effectiveness of interventions based on physical exercise in the treatment of

various diseases: A systematic literature review. International Journal of Technology Assessment in Health Care 25(4):427-454,2009) [文献レビュー]

67号(2010.3.1)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算52回. 2009年分その9:10論文)

○医療における「無駄」の除去

(Fuchs VR: Eliminating "waste" in health care. Journal of the American Medical Association 302(22):2481-2482) [評論]

○【アメリカの】開業医の医療保険との交渉費用はどれほどか？

(Casalino LP, et al: What does it cost physician practices to interact with health insurance plans? Health Affairs 28(4):w533-w543,2009) [量的研究]

○アメリカにおける医療過誤訴訟と医師費用 [の関係]

(Roberts B, et al: Malpractice litigation and medical costs in the United States. Health Economics 18(12):1394-1419,2009) [量的研究]

○【アメリカにおける】メディケアの医療の質のプロセス指標と死亡率との関係

(Ryan AM, et al: The relationship between Medicare's process of care quality measures and mortality. Inquiry 46(3):274-290,2009) [量的研究]

○【カナダ・オンタリオ州における】心臓疾患医療の質改善を目的にした [病院のパフォーマンスの] 成績表の公開の効果－E F F E C T [効果的心臓治療のためのフィードバック強化] 研究：ランダム化試験

(Tu JV, et al: Effectiveness of public report cards for improving the quality of cardiac care. Journal of the American Medical Association 302(21):2330-2337,2009) [量的研究]

○高額抗がん剤：アメリカとイギリスの比較

(Faden RR, et al: Expensive cancer drugs: A comparison between the United States and the United Kingdom. The Milbank Quarterly 87(4):789-819,2009) [比較研究]

○【アメリカの】ナーシングホームにおける離職の費用

(Mukamel DB, et al: The costs of turnover in nursing homes. Medical Care 47(10):1039-1045,2009) [量的研究]

○【アメリカの】ナーシングホームの広告 [費用] と [サービス] 価格、およびケアの質との関係

(Kash BA, et al: The relationship between advertising, price and nursing home quality. Health Care Management Review 34(3):242-250,2009) [量的研究]

○ヨーロッパの高齢者の診療・入院待ち期間と社会経済的状態 [の関係] : 「ヨーロッパ健康・加齢・退職調査 (SHARE)」から得られた証拠

(Siciliani L, et al: Waiting times and socioeconomic status among elderly Europeans: Evidence from SHARE. Health Economics 18(11):1295-1306,2009) [量的研究]

○ライフを質で調整するか、障害で調整するか? : [QALYとDALYは] 文体上の違いか、それとも重大な論争か?

(Airoldi M, et al: Adjusting life for quality or disability: Stylistic difference or substantial dispute?)

Health Economics 18(11):1237-1247,2009) [理論研究]

68号(2010.4.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算53回. 2010年分その1:6論文)

○ドイツと日本の公的介護保険の教訓

(Campbell JC, Ikegami N (池上直己), et al: Lessons from public long-term care insurance in Germany and Japan. Health Affairs 29(1):87-95,2010) [比較研究]

○【私的】医療保険—診断は明確だが、治療法は不確実

(Health insurance - Clear diagnosis, uncertain remedy. The Economist February 20th:54-56,2010)
[評論]

○【アメリカにおける】1入院当たり包括払い導入前後のリハビリテーション専門病院のパフォーマンス [の変化]

(Thompson JM, et al: Performance of freestanding inpatient rehabilitation hospitals before and after the rehabilitation prospective payment system. Health Care Management Review 35(1):36-45,2010) [量的研究]

○【アメリカの】ナーシングホームケアにおける量 [入所者数] とアウトカムの関係：長期入所者の機能 [ADL] 低下の検討

(Li Y, et al: The volume-outcome relationship in nursing home care : An examination of functional decline among long-term care residents. Medical Care 48(1):52-57,2010) [量的研究]

○【オランダの薬剤処方】ガイドラインは均一な診療をもたらすか？

(de Jong JD, et al: Do guidelines create uniformity in medical practice? Social Science and Medicine 70(2):209-216,2010) [量的研究]

○代理変数による医療の配給—アメリカにおける費用効果分析と閾値を [1 Q A L Y 当たり] 5万ドルとする誤用

(Bridges JFP, et al: Healthcare rationing by proxy - Cost-effectiveness analysis and the misuse of the \$50000 threshold in the US. Pharmacoeconomics 28(3):175-184,2010) [評論・文献研究]

69号(2010.5.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算54回. 2010年分その2:6論文)

○【日本における】男性の喫煙者と非喫煙者の生涯医療費格差

(Hayashida K (林田賢史), et al: Differences in lifetime medical expenditures between male smokers and non-smokers. Health Policy 94(1):84-89,2010) [量的研究 (シミュレーション研究)]

○【アメリカにおける】お金がないために処方された薬を過少服用した成人の心血管疾患患者の入院と死亡—縦断調査

(Heisler M, et al: Hospitalizations and deaths among adults with cardiovascular disease who underuse medications because of cost - A longitudinal analysis. Medical Care 48(2):87-94,2010)
[量的研究]

○ **【アメリカにおける】 高齢者の外来自己負担の増加と入院【との関係】**

(Trivedi AN, et al: Increased ambulatory care copayments and hospitalizations among the elderly. The New England Journal of Medicine 362(4):320-328,2010) [量的研究]

○ **【アメリカにおける死亡率と健康の自己評価の州間格差に関連する【医師数等の】 諸要因**

(Chen Z, et al: Factors associated with differences in mortality and self-reported health across states in the United States. Health Policy 94(3):203-210,2010) [量的研究]

○ **【医療における】 チームの効果を改善するための諸介入：体系的文献レビュー**

(Buljac-Samardzic M, et al: Interventions to improve team effectiveness: A systematic review. Health Policy 94(3):183-195,2010) [文献レビュー]

○ **【医療における】 経済評価の体系的文献レビュー：効用があるか馬鹿げているか？**

(Anderson R: Systematic reviews of economic evaluations: Utility or futility? Health Economics 19(3):350-364,2010) [理論研究]

72号(2010.7.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算55回. 2010年分その3:7論文)

○ **【医療は【他のサービスとは】異なるーそれが費用が問題になる理由**

(Fuchs VR: Health care is different - That's why expenditures matters. Journal of the American Medical Association 303(18):1859-1860,2010) [評論]

○ **【アメリカにおける】 高額費用のメディケイド受給者の2002-2004年の医療費とサービス利用【のパターン】**

(Coughlin TA, et al: Health care spending and service use among high-cost Medicaid beneficiaries, 2002-2004. Inquiry 46(4):405-417,2009/2010) [量的研究]

○ **【アメリカにおける】 死亡年のメディケア支払い医療費の長期的趨勢**

(Riley GF, Lubitz JD: Long-term trends in Medicare payments in the last year of life. Health Services Research 45(2):565-576,2010) [量的研究]

○ **【アメリカにおける】 死亡前1年間の障害の軌道**

(Gill TM, et al: Trajectories of disability in the last year of life. The New England Journal of Medicine 362(13):1173-1180,2010) [コホート研究]

○ **【アメリカにおける】 心不全入院患者の医療プロセスのパフォーマンス指標と長期的アウトカム【との関係】**

(Patterson ME, et al: Process of care performance measures and long-term outcomes in patients hospitalized with heart failure. Medical Care 48(3):210-216,2010) [量的研究]

○ **【自国外での医療サービスの購入：ヨーロッパ6か国における国境を越えた【診療】 契約と患者の移動**

(Glinos IA, et al: Purchasing health services abroad: Practices of cross-border contracting and patient mobility in six European countries. Health Policy 95(2-3):103-112,2010) [国際比較研究 (質的調査)]

○ **【新自由主義経済改革と国民の健康：1980-2004年の横断的国家分析**

(Tracy M, et al: Neo-liberal economic practices and population health: a cross-national analysis,

1980-2004. Health Economics, Policy and Law 5(2):171-199,2010) [国際比較研究(量的研究)]

73号(2010.8.1)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算56回. 2010年分その4:7論文)

○ [アメリカの] 1987~2006年のメディケア医療費増加中の慢性疾患の寄与率

(Thorpe KE, et al: Chronic conditions account for rise in Medicare spending from 1987 to 2006. Health Affairs 29(4):718-724,2010) [量的研究]

○ [アメリカにおける] 医療化の費用の推計

(Conrad P, et al: Estimating the costs of medicalization. Social Science and Medicine 70(12):1943-1947,2010) [量的研究]

○ [アメリカにおける] 重症疾患後の長期急性期医療病院の利用

(Kahn JM, et al: Long-term acute care hospital utilization after critical illness. Journal of the American Medical Association 303(22):2253-2259,2010) [量的研究]

○ [アメリカ国民の] 無保険者についての [態度の] 党派的分断

(Oakman TS, Blendon RJ, et al: A partisan divide on the uninsured. Health Affairs 29(4):706-711,2010) [量的研究]

○ 「死の質：世界 [40か国の] 終末期ケアのランク付け—エコノミスト・インテリジェンス・ユニット報告書」

(The quality of death: Ranking end-of-life care accross the world - A report from the Economist Intelligence Unit,2010,36 pages. 要旨はThe Economist July 17th:54, 2010) [国際比較研究]

○ 追加的QALY 1年に対する支払い意志 (WTP) についての国際調査：費用対効果の閾値はいくらか？

(Shiroiwa T (白岩健), et al: International survey on willingness-to-pay (WTP) for one additional QALY gained: What is the threshold of cost effectiveness? Health Economics 19(4):422-437,2010) [量的研究・国際比較研究]

○ フランスの医療制度：自由主義的普遍主義

(Steffen M:The French health care system: Liberal universalism. Journal of Health Politics, Policy and Law 35(3):353-387,2010) [概説]

74号(2010.9.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算57回. 2010年分その5:6論文)

○ 日本の高齢者の医療・長期ケア利用 [と費用] についてのミクロデータ分析

(Hashimoto H(橋本英樹), et al: Micro data analysis of medical and long-term care utilization among the elderly in Japan. International Journal of Environmental Research and Public Health 7:3022-3037,2010 (www.mdpi.com/journal/ijerph) [量的研究]

○ 費用を理由にした自己申告による薬剤の過少服用の決定因子：7か国の比較

(Kemp A, et al: Determinants of self-reported medicine underuse due to cost: a comparison of seven countries. Journal of Health Services Research and Policy 15(2):106-114,2010) [量的調査]

(国際比較)]

○ **【アメリカにおける】急性心筋梗塞【患者】の医療保険【加入の有無】、医療機関受診時の金銭的心配【自己負担額についての心配】と病院受診の遅れ**

(Smolderen KG, et al: Health care insurance, financial concerns in accessing care, and delays to hospital presentation in acute myocardial infarction. Journal of the American Medical Association 303(14):1392-1400,2010) [量的研究]

○ **患者が【診療費を】支払わないとき【医師はどうするか?】：アメリカのプライマリケア医を対象にした調査**

(Farber NJ, et al: When the patients does not pay: A survey of primary care physicians. Medical Care 48(6):498-502,2010) [量的研究]

○ **問題・無能同僚医師についての【アメリカの】医師の認識、報告姿勢、および経験**

(DesRoches CM, et al: Physicians' perceptions, preparedness for reporting, and experiences related to impaired and incompetent colleagues. Journal of the American Medical Association 304(2):187-193,2010) [量的研究]

○ **在宅ケアを受けている患者に生じた有害事象：文献レビュー**

(Masotti P, et al: Adverse events experienced by homecare patients: a scoping review of literature. International Journal of Quality in Health Care 22(2):115-125,2010) [文献レビュー]

75号(2010.10.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算58回. 2010年分その6:4論文)

○ **カナダは例外か? 医療における公私分割の選択・規制手法についてのヨーロッパ【5か国】とカナダの比較**

(Flood CM, et al: Is Canada odd? A comparison of European and Canadian approaches to choice and regulation of the public/private divide in health care. Health Economics, Policy and Law 5(3):319-341,2010) [国際比較研究]

○ **医療ツーリズムと医療のグローバル市場：アメリカの患者、国際的病院、および手頃な価格の医療の探索**

(Turner L: "Medical tourism" and the global marketplace in health services: U.S. patients, international hospitals, and the search for affordable health care. International Journal of Health Services 40(3):443-467,2010) [総説]

○ **医療ツーリズムについてのヨーロッパの視点：知識基盤の必要性**

(Carrera P, et al: A European perspective on medical tourism: The need for a knowledge base. International Journal of Health Services 40(3):469-484,2010) [論評]

○ **豊かな国【の国民】は常に【貧しい国の国民】より健康と言えるか? 国民所得水準、不平等と貧困【率】がラテンアメリカ【22か国】の公衆衛生【指標】に与える影響**

(Biggs B, et al: Is wealthier always healthier? The impact of national income level, inequality, and poverty on public health in Latin America. Social Science & Medicine 71(2):266-273,2010)

[量的研究・国際比較研究]

76号(2010.11.1)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算59回. 2010年分その7:6論文)

○ベルギーにおける死亡前6カ月間の医療利用と医療費のパターン：がん患者と非がん患者の年齢階層別の違い

(Gielen B, et al: Patterns of health care use and expenditure during the last 6 months of life in Belgium: Differences between age categories in cancer and non-cancer patients. Health Policy 97(1):53-61,2010) [量的研究]

○医療における質に応じた支払い（P4P）が【医療の質の】不平等に与える影響：体系的文献レビュー

(Alshamsan R, et al: Impact of pay for performance on inequalities in health care: systematic review. Journal of Health Services Research and Policy 15(3):178-184, 2010) [文献レビュー]

○【アメリカにおける】慢性疾患治療率の近年の上昇を理解する：疾病が増えたのか、それとも発見が増えたのか？

(Howard DH, et al: Understanding recent increases in chronic disease treatment rates: more disease or more detection? Health Economics, Policy and Law 5(4):411-435,2010) [（一部）量的研究]

○【アメリカにおける】高強度運動の経済学

(Meltzer DP, et al: The economics of intense exercise. Journal of Health Economics 29(3):347-352,2010) [量的研究]

○【アメリカにおける】電話によるケアマネジメント戦略のランダム化試験

(Wennberg DE, et al: A randomized trial of a telephone care-management strategy. The New England Journal of Medicine 363(13):1245-1255,2010) [量的研究]

○【カナダの】普遍的医療保険とホームレスの人々の医療アクセス

(Hwang SW, et al: Universal health insurance and health access for homeless persons. American Journal of Public Health 100(8):1454-1461,2010) [量的研究]

77号(2010.12.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算60回. 2010年分その8:7論文)

○【アメリカにおける】将来の医療技術革新の新しい優先順位

(Fuchs VR: New priorities for future biomedical innovations. The New England Journal of Medicine 363(8):704-706,2010) [評論]

○新技術と医療費—手術支援ロボットの事例研究

(Barbash GI, et al: New technology and health care costs - The case of robot-assisted surgery. The New England Journal of Medicine 363(8):701-704,2010) [事例研究]

○費用効果の情報【QALY当たり費用】の使用を禁ずる【アメリカの医療保険改革】法

(Newmann PJ, et al: Legislating against use of cost-effectiveness information. The New England Journal of Medicine 363(16):1495-1497,2010) [評論]

○電子医療記録、看護職配置と看護関連患者満足度：1998-2007年のカリフォルニア州の病院【の分析】から得られた結果

(Furukawa MF, et al: Electronic medical records, nurse staffing, and nurse-sensitive patient outcomes: Evidence from California hospitals, 1998-2007. Health Services Research 45(4):941-962,2010) [量的研究]

○使用されている電子医療記録の機能と医療の質との関係ーアメリカ全州調査の結果

(Poon EG, et al: Relationship between use of electronic health record features and health care quality - Results of a statewide survey. Medical Care 48(3):203-209,2010) [量的研究]

○電子医療記録の成功が限られていることはターゲットを絞って用いるべきことを示唆している

(DesRoches CM, et al: Electronic health records' limited successes suggest more targeted uses. Health Affairs 29(4):639-646,2010) [量的研究]

○患者安全問題 [有害事象] の開示：包括的文献レビュー

(O'Connor E, et al: Disclosure of patient safety incidents: A comprehensive review: International Journal for Quality in Health Care 22(5):371-379,2010) [文献レビュー]

「二木立の医療経済・政策学関連ニューズレター」2010年（65～77号）

「私の好きな名言・警句の紹介」2010年分 人名索引

注：カッコ内は「ニューズレター」の号数。各行ごとに「ニューズレター」掲載順。外国人は姓のみ（ただし例外あり。例：トム・クルーズ）。映画・テレビドラマ・芝居のセリフはその名称（「」表示）。カッコ内の(A=B)：B号で初めて紹介したもののA号での再掲。

あ行

エンゲルス(65),大沢文夫(66),オリックスVIPローンカード(66),池田信平(66),伊関友伸(67),潮田道夫(67),大山康晴(67),内野雅一(67),小田実(67),伊藤千尋(68),岩崎俊一(69),井上ひさし(69,75,77),伊丹敬之(71),上田敏(71),ウェバー(71),ウィルソン(71),宇都宮健児(71),エツァールト・エルンスト(72),奥村宏(72),梅原猛(72),岩瀬仁紀(72),梅棹忠夫(73,77),岩井克人(73),岡田武史(73),落合博満(73),石の森章太郎(74),飯島澄男(74),石川馨(74),江上剛(74),アサンジュ(74,77),大森恢子・大森実(74),イチロー(74,77),大前研一(75),岡田彰布(75),岩尾總一郎(75),岡田克也(75),上野英信(76),岡本先生(76),浅尾拓也(76),大沢啓二(76),上田紀行(77),オスカー・ワイルド(77),伊澤敏(77),上野俊哉(77)

か行

近藤義郎(65),カマラ(65),キャメロン(66),黒田勲(66),ゴルバチョフ(66),小山路男(66),小西聖子(67),亀井静香(67),加藤周一(68),工藤晃(68),川田順三(68),北川隆吉(69=38),栗山民也(69),川島博之(71),川島正次郎(71),小松左京(71),黒澤明(72),岸博幸(72),小山裕史(72),小雪(72),権丈善一(73),クルーグマン(73),ケネディ,ポール(73),今野敏(74,77),今野勉(76),河盛幸蔵(74),コリンズ(74),黒井千次(74),魁皇(74),鎌田浩毅(75),北川貞二郎(75),小谷野敦(75),風間直樹(75),ケインズ(75),古今亭志ん生(75),車谷長吉(77)

さ行

ジッド(66),佐藤香(66),菅原琢(68),佐々木譲(68),サミュエルソン(68),白石一文(68),佐藤勝彦(69),坂巻久(69),ステイグリッツ(71),芳沢光雄(71),三遊亭円楽(71),サイモン・シン(72),セーガン(72),ストイコビッチ(72),白波瀬佐和子(73),ジョーンズ,ハンク(73),佐藤卓巳(73),瀬名秀明(75),スキデルスキー(75),柴本礼(75),佐々木常夫(77)

た行

辻井喬(65),ちばてつや(66),竹中平蔵(67),鶴見俊輔(68,71),友野宏(68),坪田一男(69),堤未果(69),田代博(71),多田富雄(72),ターケル(72),豊川悦司(73),テリー伊藤(73),ドラッカー(73,76),武松道生・輝男(76),谷岡伸治(76),チャーホフ(77),ドゥアルテ(77)

な行

二木立(65,68,68,77),中井久夫(65),長井健司(65),長島圭一郎(67),野中広務(67),長妻昭(68),ニュートン(75),永田亮子(76),中沢正夫(77=13),「ナイト&デイ」(77),野田正彰(77),蜷川幸雄(69,77)

は行

ブレンドン(65),ブレイク(66),羽生善治(67),細川英雄(69),藤原正彦(69),林望(69),浜矩子(69,73),二葉百合子(71),パスツール(72),ハンク・ジョーンズ(73),ポール・ケネディ(73),

日比忠俊(74),日野秀逸(74),ポール・ピラー(74),針生一郎(74),ファインマン(75),邊見公雄(75),プレハーノフ(76)

ま行

マルクス(65),増田久雄(65),丸山健二(65),ムーア(65),益川敏英(66,68=9,72),「マクベス」(66),モロゾフ(67),モリス(68),村田兆治(68),盛岡正博(69),三浦知友(71),森昌彦(72),道尾秀介(73),本山美彦(74),森田松太郎(75),松井芳郎(76),三品和広(76,77),水月昭道(76,77),マンドラ(77)

や行

吉田徹(65),矢沢永吉(65),与田剛(66),吉俣良(67),与謝野馨(67),山田洋次(67),吉岡隆(71),湯浅誠(72),米内光政(76),横井忠則(77)

ら行

レヴィ＝ストロース(68),

わ行

渡辺利夫(65),和田秀樹(66),若月俊一(69),ワイズマン,リチャード(75),若月俊一(76),和田一浩(76),ワイルド,オスカー(77)